



みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

Information 介護支援スタッフ、生活支援スタッフ募集中!

未経験者歓迎

詳しくはホームページ、または下記宛お問い合わせ下さい。

✉ saiyou@n-ikuseien.jp ☎ 0595-65-0271 (担当:西浦・川出)



vol.108
2020.12.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:宮田義則 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子



お店の名は「みなみかぜ(MINAMIKAZE)」。温もりが漂い、そこに居る人を包みこむようにと気持ちを込め、名付けられた。

意識改革で「ホスピタリティ」を実践 遊び心が生んだ、カフェみなみかぜ

コロナ禍で揺れる2020年。そのような中、障害者支援施設成峯(入所施設支援)では、主任が中心となって意識改革に取り組み、ホスピタリティ(思いやり)溢れる支援を実践しています。その一つが、この10月に誕生したカフェみなみかぜ。

「私たちも楽しみながら支援できる食事の場にしよう!」と、遊び心を取り入れて食堂の改善に取り組んだ結果、コミュニケーションの連鎖が生まれ、支援する心にもゆとりが生まれました。

新型コロナウイルス対策の一つとしてフロアのゾーニングが必要となり、1Fにあった食堂に加え、2Fフロアにも食堂を設置することになりました。新たに2F食堂として利用する場所は、多目的室の地域交流スペースを間仕切りしただけの部屋。殺風景で温もりを感じない部屋での食事は、暮らしの営みとしてはあまりにも寂しいものでした。

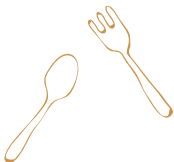


「このところ寒くなったから、温かい着るなあかんで!」「おっちゃんど違って、若いから大丈夫!」
何気ない会話を聞いていると、街中のカフェでくつろぐ家族と見間違えよう。

そこで、利用者ファーストでホスピタリティを実践しようと考えたのが、「レストランのワクワク感」「カフェのくつろぎ」を徹底して取り入れた食堂へのリニューアル。職員自らも、カフェ店員やコックになったつもりで接客すれば、「お客様へ提供するサービス」がわかりやすく実践できるに違いない。遊び心で取り組めば、私たちも楽しいはず!と、職員発案の企画が実施されることになりました。



大きな窓に面したカウンター。行きかう人や空を眺めながら、ゆっくり食事をする事ができる。



「みなみかぜに来るのが楽しみになった!」彩りのある空間だけでなく、何よりカフェ店員になりきったサービスが営みに楽しさを添えている。



「部屋が明るくなって、いい雰囲気になった!」コロナ禍で外出がままならない今、成峯に住まう人の、心の拠り所にもなっている「みなみかぜ」。カフェ店員に扮した職員とのコミュニケーションにも、良い連鎖が生まれている。

「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」「わかったことは、ホスピタリティの大切さと、プロとしての自覚。」遊び心とはいえ、学んだことは多いと誰もが語る。ふっと肩の力を抜いて取り組むことが、本質を見極められる秘訣かもしれませんね。

取材:広報委員会

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索



名張市障害者地域活動支援センターひびき

お菓子教室「スイートポテト作り」



「食欲の秋」ということで、旬のサツマイモを使ってスイートポテトを作りました。大量のお芋を切って、レシピを見ながら、牛乳と砂糖だけでうまくできるのかな?と心配しながら煮込んでいくと、だんだんお芋のいい匂いがしてきました(^^)。

そして形を整え、卵黄を塗り、オーブントースターで焼き始めると、部屋中に甘〜い匂いが…更に、マシュマロをのせて焼いてみると、マシュマロがこんがり焼けて、また違う甘さも加わった

美味しそうなスイートポテトが出来上がりました(^^)

みなさんもぜひ一度マシュマロをのせて焼いてみてください。2種類の味を楽しむことができますよ!



施設入所支援(成美)

時間も忘れて…



コロナ禍で日常の過ごし方にも変化が見える中、黙々と「段ボールの工作」に取り組む方がいます。最近のブームは、お面や兜といった『被り物』。支援員も傍らで手伝いながら、“出来る事・やりたい事”は積極的に自分で加工するなど、いつも時間を忘れるほど夢中になり、自分の思い描いたものを“カタチ”にしています。私たち支援員も、このような『夢中になれる・楽しめる』ことに寄り添って、一緒に楽しみながら毎日を過ごしていきたいです。

さて、今日は何んな作品がうまれるのでしょうか♪実は一番楽しみにしているのは“わたし”なのかもしれません。

伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポートハオ

コミュニケーションスキルアップ研修会

コロナ禍で様々な交流会が中止となる中、オンラインが苦手な方も一緒に交流できればと「郵便での意見交換」を行いました。議題はズバリ、「コロナ禍でのご自身の状況について…」です。年4回開催している研修会メンバーに郵送し、回答をハオでまとめて皆さんに返信するという形をとりました。

研修会では活発に意見交換されている皆さんも、書くことや、期限を決めて返送することが苦手だったり、逆に口数の少ない方が「新しい生活様式について意識している。」など、しっかり意見を書かれていたり、新たな気づきがありました。早く顔を合わせて交流できればいいですね。(^^)(^^)♡(^^)(^^)



(表面より)

こんなところにも「みなみかぜ」効果があります!



レストランのためなら何でもするよ!
元気で誰にも負けない!
接客全国No.1!
手洗いのスペシャリスト!
心優しい服薬師さん!



こっくさん さつきちゃん みなみちゃん みどりちゃん なつちゃん

カフェ定員は、5人のキャラクターに扮しています。例えばみなみちゃんは、「全国ウエイトレス選手権の優勝者、接客で右に出るものはいない」。みどりちゃんは、「手洗いの資格を持っている、手洗いスペシャリスト!」など、遊び心で役割分担。

「気持ち良くお客様を迎えよう!」「食堂をキレイにしよう!」自然にそういった意識が根付く、楽しいアイデアですね。



リニューアル前の地域交流スペース。実は、内装施工をしたのは、名張育成会レインボークラブの生活困窮者自立支援事業で、社会での自立を目指して就労訓練を受けている人たち。成峯の入居者からも感謝され、働く喜びの発見に一役買いました。

虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271